

ひとりひとりひかる

きぼう

2003 7/1
第33号

発行:かしの木の会/かしの木の里内 尾西市富田字砂原 2147:kasisato@f7.dion.ne.jp
榎の木園:kasien@k3.dion.ne.jp 榎の木作業所:kasisyo@k2.dion.ne.jp
かしの木 ホームページ [http: www.h3.dion.ne.jp/~kst/](http://www.h3.dion.ne.jp/~kst/)



写真は、尾西市ゆめぴっくスポーツ大会の綱引きの様子です。今年尾西市立三条小学校にて盛大に開催されました。予定日の6月1日が雨天で順延となり8日に行われました。ハンディのある方、ボランティアの方、三条小学校の5年、6年の児童、みんな一緒になって心地よい汗をかきました。玉入れや、綱引きパン喰い競争などのあとで食べる昼食のカレーは、おいしかったです。皆さん、来年はぜひごいっしょしませんか？



【33号きぼうの目次】

表紙 写真 目次	P. 1
今後の施設利用と地域福祉を考える	P. 2~3
地域情報コーナー/クリーン作戦	P. 4
地域福祉コーナー①/テレホッパ-の会	P. 5
地域福祉コーナー②/ピュアハウス	P. 6
かしの木の会コーナー/会組織変わる	P. 7
かしの木の会コーナー/広報研修委員会	P. 8
施設コーナー[園]/第3作業室加わる	P. 9
施設コーナー[里・らちえつと]/通信	P. 10
文芸コーナー①/俳句	P. 11
文芸コーナー②/そうぞうのとびら展	P. 12
かしの木の会 決算報告書・予算書	P. 13
榎の木福祉会 決算報告書・予算書	P. 14
お知らせコーナー	P. 15~16

今後の施設利用と地域福祉を考える

—かしの木の会のパネルディスカッションから—

かしの木の会ではハンディのある人達の将来について、これまで会全体の取り組みとして考えてきました。しかし保護者の数も増え、施設も3ヵ所となり、それぞれが抱えている問題も多様になってきました。そこで今年度からは各施設ごと、各保護者会ごとに自分の子供の将来を自分たちで考えようということでスタートしました。

今年度のかしの木総会は4月20日(日)に行いました。午後は、パネルディスカッション形式で、各施設ごとの保護者の代表の方と、かしの木の里施設長にパネラーになっていただき、自分たちの抱えている問題や意見等を発表していただきました。それぞれの要旨をご紹介します。

櫛の木作業所 渋谷 内美さん・前川 満子さん

作業所は昭和56年に建てられたが、地主の方のご厚意により土地はお借りしたまま。平成23年頃にはお返ししなくてはいけない。建物は古いし、使い勝手が悪いので今後どのようにすればいいか作業所の保護者全員で考えていきたい。

親はいつか年を取り、亡くなる。不安ばかりだが、子ども達の将来のために少しずつ自立体験をさせてはどうだろうか。例えばグループホームを建てるにしても、保護者である私たちが一致団結しなくては！会員の皆さんの後押しが必要です。

櫛の木園 大川 真砂さん・堀江 智恵美さん・時田 加代子さん

櫛の木園は建設当時の借入金の返済が残っている。冷暖房の整備も必要。また施設に入所したいが、定員いっぱい待機しているという人もいる。高齢の親御さんは将来に不安を抱えており、それには重度の人も利用できるグループホームも考えていかなくては…。

自分の子のことは分かっている、他の子のことはよく分からないのが現状。世間の人をお願いする前に、まず自分たちが分かり合い、思いやることが大切。

かしの木の里 高松 勉さん

保護者会に出席して、これ以上入所施設は作れないこと、里は自立目的の場であること、まだ大勢利用者がいるということを知り、のんびりはしてられないことが分かった。

他地域では、保護者会活動が積極的。先日羽島市のボランティア協会を見学。保護者の方も明るく、ボランティアの方々も少ない時間をうまく使って活動してみえる。

とにかく保護者会に出席してほしい。分からないところは、尋ねてください。助け合って進んで行かなくては。学びながら考えていきたいと思っている。

ピュアハウス 橋本 久美子さん・渡辺 久恵さん

ピュアハウスはこの4月から利用者が5名。月曜から金曜まで、9:00~16:00までお仕事をしています。パートの職員さんに来てもらっている。

これからの課題は、認可施設にということで、安心して通える場にしたい。

ピュアハウスを支えるピュアの会を発足した。事業内容は、リサイクル、バザー、物資販売、社会福祉活動。ただ今会員募集中ですので、よろしく!

らちえっと 道家 由美子さん

障害の重い子を抱えている。障害者は親がどうかなった時、施設しかないのかなどずっと考えていた。特に息子は環境が変わると、体調を崩してしまう。たとえ重度の障害があっても、やはり家が一番いいのではと考える。

地域に困ったときに相談できる窓口があればいいと思うが、現実には自分の住んでいるこの地域には、窓口もないし、選べるサービスもない。

地域の人たちに支えられながら、生き生きと暮らしたい。そのためにも、そういうシステム、サービスを育てることが大切だと思う。

地域でみんなと一緒に暮らせるために、次に続く人たちのために活動していきたい。

かしの木の里 石田 和夫施設長

道家さんの話をみんなが注視していた。なかなか普段こういう話は語れないでいるがこれではいけない。会としてまとまって要望していくことも大事だが、一人一人が声を出すことも大切。具体的に出てきた福祉政策をみんなで作り上げていこう。

この後会場からは、いろいろなご意見、質問等がありました。施設の抱えている悩み、また個人が抱えている悩みがいろいろあることがわかりました。

この住み慣れた地域でハンディのある人が安心して暮らすためには、まだまだ足りないもの、不十分なことがたくさんあります。

ないから仕方がないとあきらめないで、一つ一つみんなで声を出して、時には力を合わせて、実現に向けて動くことが今求められています。

実のあるパネルディスカッションができました。

コーディネーターは、樫の木園 只井秀明施設長でした。

皆様ありがとうございました。



地域情報コーナー ひろがれ市民の輪 びさいクリーン作戦

5月25日の日曜日は快晴に恵まれました。尾西市では、町内及び河川クリーン大作戦が行われました。びさい広報では、参加者2,530人、5.6トンものゴミが集められたとのこと。このゴミの量は、町内の方は収集車16台分、河川の方はトラック28台分に当たるそうです。すべて、捨てられたゴミですから驚きます。

私自身は、木曽川河川クリーン作戦に参加しました。新しい市長さんのご挨拶に大きな拍手が送られ、参加者の皆さんは、戴いた軍手をして、ゴミ袋片手に元気よく堤防に上がりました。洋々たる木曽川の景観が広がりました。日頃より風がきついので、堤防の上にはゴミは見当たりません。人々は河川敷や草むらの中に散らばって行きました。中には川の縁まで足を延ばす人もありました。

児童の参加もちらほられました。二人の幼児は、おばあさんらしき人に付いて、懸命にゴミを捜していました。また、かしの木の会の緑のエプロンをした人達は知的なハンデイをもっていたり、歩行器を使用していたりしながらも参加者が次第に増えてきています。このように、クリーン作戦にいろいろなひとたちが一緒になってきていることをうれしく思います。

現代社会は、生産（モノ）主義偏重であり、効率やスピードが求められ、ゆとりや交流が希薄になってきています。大切にすべき心の豊かさをいつしか置き去られていますので、このことを意識的に取り組んでいくことが求められています。

クリーン作戦は、だれが、どれだけきれいにしたか、ゴミをたくさん拾ったかということなど、拾うことだけが目的ではもちろんありません。また、車椅子の人やお年寄り、足手まといとか、迷惑になるなどの懸念も無用だと言えます。

クリーン作戦は街づくりのひとつとして、たったひとつのゴミを拾うだけでも、また、ゴミは拾えなくても美化活動をする人達と一緒に歩いていることが楽しいという人達もおおいに参加していこうではありませんか。児童からお年寄りまで、心身にハンデイをもつ人もそうでない人も、市民の誰もがこの美しい自然や街に感謝し、大切にしようという思いで、さわやかに、ささやかに交流できる行事に進んでいくことを期待しています。

ひとつでも、ひとつでも街の中でのお付き合いがすすめば、ゴミを捨てることも少なくなっていくのではないのでしょうか。

(かしの木の会員 石田)



▲ ▼クリーン作戦の参加者たち



地域福祉コーナー① ☆テレホンコーパーの会さんへ取材に行ってきました☆

今回は、尾西市社会福祉協議会のボランティア連絡会に所属されている、テレホンコーパーの会さん取材させていただきました。

テレホンコーパーの会は、今からだいたい25年程前から活動されており、会員はボランティアの他、大半は尾西市の民生委員の女性の方を中心に行われているそうです。今年の会員数は60名です。昨年は県庁にて、厚生大臣よりこの活動の表彰を受けられたそうです。

活動内容は、各地区(東西南北)に分かれて、当番で毎月2日間、担当の日にちを受け持ち、尾西市社会福祉協議会にあるテレホンルームにて、担当地区の登録されている独居老人へお電話をかけ、お元気な様子を伺っています。その際に個人別のファイルノートに、お電話の内容や、「不在でした」というメモをし、不在だった方には、次の当番の方がもう一度電話をかけるという仕組みになっています。

お電話をかける時間は、かける方の都合もあり、特に決まってはいませんが、午前中は不在(通院や喫茶店など)が多い為、ご迷惑をおかけしてはいけないと、ご都合の良い時間を選んでかけられています。中には足の不自由な方もみえるので、電話に出るにも時間がかかり、何度もコールする時もあるそうです。



お話の内容は、「お元気ですか?」「お変わりありませんか?」等です。会話が弾んでくると、お孫さんのお話や色々話をしていただけて楽しいですとのこと。中には自分の思いや悩み事を打ち明けられる方もみえ、その都度各地区の民生委員の方へ連絡し、悩みも解決しているそうです。お年寄りの方には、強い見方になってくれるようですね。梅雨時や、体調の優れない時は、声の色が悪いと心配になります。が、電話に出ていただけるという事は、まだまだ、元気の証かなあと思われるそうです。

いつも電話の声ばかりで、お会いしてお話もしたいなということで、地域に分かれて、民生委員さんより、ゆうあい訪問が行われています。6月・12月・3月と年3回、独居老人のお宅へ訪問させていただいているそうです。楽しみに待って見える方ばかりで、うれしいですよ!と。

北部の方では、ふれあい給食と言って、民生委員の男性の方も交えて、独居老人をお招きして、ちらしずしを振舞っているそうです。これからも地域の方々との交流の場が増え、ますます地域の輪が広がると思います。 (取材 大野 さちこ)

地域福祉コーナー② こんにちはピュアハウスです！！

ピュアハウスの今のように

2年目を迎えて2ヶ月以上が過ぎたこの頃、子供達に変化がでてきました。

4月から仲間入りしたMちゃんは、お母さんがいないとパニックになり、物をたたいたり大きな声を出したりしていましたが、最近ではそれもほとんどなく、頑張っ

て作業をしてくれます。
H君は作業の手が早くなり眠くなると手を休めていたのに、顔を洗いにいったりして、自分なりに工夫をするようになりました。T君はフラフラと歩きまわることが少なくなり、自分の作業に集中できるようになりました。休みがちだったK君毎日来るようになり、Kちゃんはよくお話ししてくれるようになりました。パートの職員の方々の指導の成果だと思い感謝しています。



盛大だったピュアハウスバザー

5月25日「ピュアハウスばざー」という名でバザーを開催しました。天気もよく人出もまざまざ。かしの木の関係の方々にもたくさん来て頂き、ありがとうございます。広報や地域の皆様へのチラシ配り、ポスター等PRの効果もあったのでしょう。

「来年もまたやるの?」とか、「またやる時も来るね」等嬉しい声もありました。売上純利益 77,680 円あり、初めてにしては、大成功だったと思います。とても楽しいバザーでした。



かしの木の会コーナー① ～ 事業案内 ～

かしの木の会では、「障害」のある人たちを支援する会として発足し様々な活動を展開してきました。

4月からは、更なる飛躍に向け組織を見直し、新たな活動を行っていきたく考えています。

「趣意書」

1. 障害があろうとなかろうと、社会の一員として一人一人を大切にし、お互いに助け合いながら生きていこうとする人々の集まりであること。
2. かしの木の各援護施設を活動の拠点として、広く地域に在住の心身障害者(児)のみならずあらゆる社会的弱者への支援をしていく。
3. 一般社会との相互理解をすすめながら、地域の障害者福祉計画ならびに、その実現に協力していく。
4. 人と人が交流し、人の輪が広がっていくように、地域社会とのつながりを持ち、この地域が一つの大きな家族のように手をつなぎあって生きて行く中心となる。

かしの木の会の会員は檜の木各施設に通う子供たちの保護者をはじめ、檜の木福祉会の職員及びこの主旨に賛同する一般の方々による協力で成り立ち運営しています。

会の組織は会長を筆頭に次の各委員会を設けて、それぞれに分担し年間計画の立案にそって事業に向かって日々努力しています。

①運営委員会はかしの木の会の全体を把握する為に、月に1回の定例会及び臨時定例会を実施しています。

②フェスティバル委員会は年1回開催しているかしの木フェスティバルの計画立案・準備・及び当日の運営を担当します。

③広報研修委員会はこの会と障害者について地域の皆さんに啓蒙する広報誌「きぼう」の発行及び研修勉強会の企画などを行います。

④収益委員会は各地域・各場所でバザーを実施し収益活動に励み、又バザーに出品する小物等の製作を会員・ボランティアで励んでいます。

⑤リレーション委員会は会及び地域で行う種々の行事を企画・準備から実施までを担当しています。

⑥ボランティア委員会は檜の木の各施設内における活動をはじめとして、各行事のボランティア活動を行う他、地域のボランティア活動の輪を広げていくための活動を行います。

⑦施設支援委員会はかしの木の会で各施設の支援を中心に、地域に必要な活動や社会資源の学習などを行います。

以上の様な事業を行う他、各市町村の行事等の参加や、バザー等も開催などの活動も行っています。地域の皆様にはこれらの活動にご理解頂き厚く御礼申し上げます。これからも宜しくお願い申し上げます。



かしの木の会コーナー② 広報・研修委員会

毎回、会報誌「きぼう」をご愛読頂きましてありがとうございます。

私達の委員会は 20 名ほどの委員で活動しています。

主な活動としては、会報誌を購読して頂く皆様と地域への啓蒙をしていく為に定期刊行を年 4 回と増刊号の会報誌「きぼう」を発行と、研修会をしています。発行には記事の内容を企画し、それにそって記事の依頼、場合によってはインタビューに出かけて記事を書くこともあります。

記事の原稿が集まると、委員会で編集会議を開き内容の確認・配置等決め、次に印刷・折込は、かしの木の会の会員でお手伝いをして頂きます。

特に印刷・折込は購読者の増加とともに部数も増えております。かしの木の会では会報誌「きぼう」を送るにあたり、費用削減してより多くの購読者に届けるように、昨年(14年3月に東海郵政局から第三種郵便物の許可を頂きました。

この、第三種郵便物は郵便規則第 21 条の 2 に規定する心身障害者団体が心身障害者の福祉を図ることを目的として発行するものであること、となっており内容については、大変厳しいものでしたが、かしの木の会の会員全体で協力し許可となりました。

内容については、ポイントを記すると毎年 4 回以上の号数で定まった日に発行

すること。

公共的な事項(法律・思想・労働・芸術・教育等)の内容を記入する。

1 回の発行部数は 500 部以上。発行部数の 100 分の 80 以上は有料であること等の決まりがあり、年 1 回の定期監査があります。この許可は申請を始めて約 2 年が掛かりましたが、今では努力したかいがあったとおもいます。

以上のことから、かしの木の会の会報誌「きぼう」の内容については「コーナー」を設けて、購読者に少しでも判り易いようにをモットー努力しています。

地域福祉・地域福祉情報・かしの木の会・施設・文芸・地域ボランティア・お知らせの各コーナーで発行していますので、これからも、地域に役立つ情報をお届けしていきますので、かしの木の会のご理解とご協力をお願い致します。

もう一つの任務は研修(学習会)会を会員の皆さんと、子供のために福祉の変化を勉強するために、講師等をお招きしての講演会を企画・準備・実行を行っています。

**パソコンの得意な方、取材にご協力して頂ける方
記事を書いて頂ける方等々
興味ある方！大募集！！**

ホームページにも是非アクセス下さいね！

施設コーナー①

檜の木園に第3作業室誕生 (通所施設の機能分化から)

今年、支援費制度が開始された4月に、檜の木園に新しい作業室が誕生しました。第3作業室といいます。えっ、第3作業室といえば、檜の木作業所なのに・・・そうです。檜の木作業所の第3作業室の1部の人たちが、檜の木園での活動となったのです。檜の木園と檜の木作業所は、以前から施設入所から一般企業へ一本化した療育援助をしていました。檜の木園の2つの作業室、檜の木作業所の3つの作業室をつかって、みなさんの課題に合わせた、作業に取り組む段階をつくり、がんばりによりステップアップしていき、最後に就職というシステムです。その中から何人もの人が一般企業へと巣立っていかれました。

利用者本人選択となった支援費制度の中でも、この作業の取り組み方に合わせた療育援助は大切にしていきたいと思っています。

ただし、施設間（檜の木園と作業所）の異動が難しくなりました。そこで、施設の中でも作業の段階に合わせた応援がしやすいよう、各施設に3つずつの作業室と小グループ化した結果、檜の木園に第3作業室の誕生となったわけです。

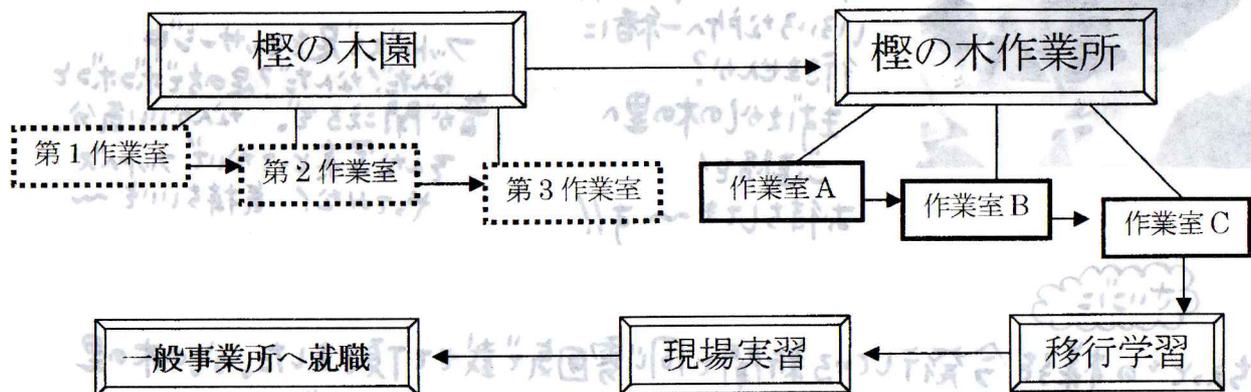
現在、檜の木園第3作業室では、7人の利用者と2人の職員が、毎日の作業に励んでいます。この檜の木園で、この作業室の中で、みなさんの要望をなるべく取り入れながら支援をしていき、自己実現を図っていきたくと考えています。

新しい作業室の誕生で、檜の木園全体の顔ぶれも増え、檜の木作業所も顔ぶれが変わりました。

何かと支援費、契約制度のスタートと同時に戸惑いながらの出発です。檜の木園も檜の木作業所も、みなさんにとってすばらしい方向へ進んでいくようにがんばって行きたいと思います。(檜の木園 只井)

通所施設の作業室異動から就職に向けての支援システム

作業指導の療育的な基本理念段階評価による繋がり





みなさんいかがお過ごしですか? かの木の里「らちえと」です
 昨年10月からスタートした「らちえと」事務局も3回往出しています
 今回はきぼうに出るということで最近の様子を皆さんにお知らせ
 します
 いつもはらちえのメンバー(すべて男性)が頑張っています 春休みの
 学生の方(すべて女性)も3名来られ、とても楽しかったです
 いつもはこヒルな僕も思わず笑ってしまいました



みんなが背中、お腹や足など触って
 体操中。この素晴らしい雰囲気伝わりますか?



絵を描くの
 最高に楽しいよ
 僕の笑顔も最高でしょう!!



筆先に思いをこめて
 (描きます)
 真剣な作業です

施設コーナー



ボランティアと一緒に
 アイスクリームを食へに行きました
 いろいろな所へ一緒に
 行きませんか?
 まずはかの木の里へ
 ご連絡を!
 お待ちしてます!!

フットバスで足をマッサージ中
 なんだ!なんだ? 足の方でポコポコと
 音が聞こえるぞ。なんかいい気分。
 そんな写真とってないでフットバス
 やってみな! 気持ちいいぞ~

セリジニ

「らちえと」の様子を今発行している新聞と同じ雰囲気で載せて頂きました。かの木の里
 への口にも新聞がありますので、そちらの方もよろしくお願ひします。らちえとでした

文芸コーナー ①

尾西市市民俳句会

見ゆるもの青一色や慈悲心鳥

森青山

卯浪立つ大湖の彼方近江富士

伊藤宮子

玻璃に書く悲しき詩歌五月雨

岡田たみ子

円空堂残して美濃の田植了ふ

栗山チヨコ

廢線は錆びるにまかせ姫女苑

木之村美代子

衰へのなき大滝や廢札茶屋

杉浦光枝

浜薄暑海女手づくりの干物売る

渡辺 長久

戸を叩く水鶏舎住の寺知らず

岡田 波流夫

天竜の飛沫まとひて岩つづじ

続木 静子

秘仏見る人のにぎはひ風薫る

玉腰たか子

伊吹嶺に来て雲海の怒濤見る

大野 克昌



滋賀県/大津市：石山寺にて



文芸コーナー② そうぞうのとびら展



かしの木の里の絵画クラブの皆さんが描いた絵画を展示する「そうぞうのとびら展」が6月25日から29日の5日間、三岸節子記念美術館において行われました。

毎月1回余暇活動のひとつとして絵画クラブに取り組んできましたが、芸術としての視点から作品の制作に取り組む場にしたという思いから、芸術活動の場と言うにふさわしい雰囲気づくりを心がけました。そうすると利用者の皆さんも制作活動に没頭することができ、また個人が主体的に絵画クラブに参加できつつあります。

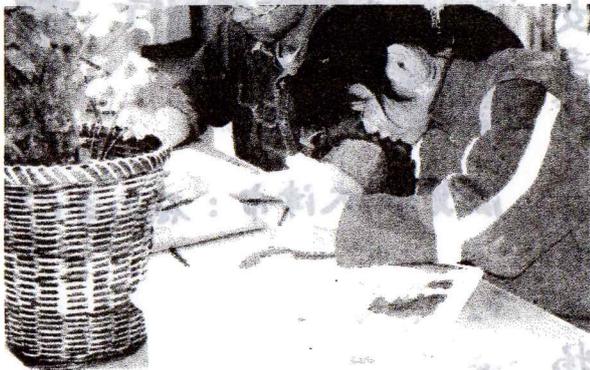
「そうぞうのとびら展」は「障害者作品展」といったような日々の努力の成果を発表するという福祉的な視点でのものでなく作品をアートとして捉え、専門の方の意見を参考に選出し出展しました。

絵画クラブでは毎月、様々な題材を用意し参加者それぞれが題材を選んで制作活動をしています。季節の花、果物、野菜、魚など用意されたものばかりでなく、描く人の心像風景であろうと思われる作品も数多く生まれています。誰からか何らかの指導があつて描くものではなく自然に描く人の内側が画用紙に表れたものです。どの作品もその人にしか描けないものであり一見してその人が描いたと分かる特徴を持っています。



絵画展に足を運んで下さった方に1つでも印象に残る作品があつたら作品制作者にとって嬉しいことです。自分の作品を発表し客観的に何らかの評価をしていただくことは有意義なことだと思います。「そうぞうのとびら展」の感想などきかせていただけたら幸いです。

絵画クラブ 古川 和弘



そうぞうのとびら
ひらいてね☆

2003年07月01日

きぼこう

第33号

かしの木の会 平成14年度 決算報告書

名称区分		貸借対照表		収支計算書					
名称区分	会計区分	借方	貸方	借方	貸方				
かしの木の会	事業会計	流動資産	2,918,401	流動負債	1,523,281	事務費支出	287,179	会費収入	570,000
		現金	50,850	未払金	20,281	一般物品費	21,105		
		預金	2,867,551	借入金	0	会議費	52,025	事業収入	2,164,650
		立替金	0	預り金	1,503,000	役員費	94,600	盆踊り	103,530
		仮払金	0	借入金	0	雑費(務)	119,449	尾西まつり	169,980
		未収金	0	その他の	0			福祉フェスティバル	33,660
		その他の	0	流動負債	0	事業費支出	2,381,121	松坂屋福祉の店	155,460
		流動資産	0	運用財産基金	2,087,400	広報・研修事業費	255,045	他施設バザー	32,225
				積立金	4,607,189	レク事業費	121,325	他地域バザー	226,180
						収益事業費	346,858	物資販売	787,017
						ボランティア事業費	0	尾社協出張販売	74,380
						特別事業費	107,893	榎の木フェスティバル	196,021
						慶弔費	0	里常設販売	26,960
						助成金支出	1,550,000	個別販売	182,787
						雑費(業)	0	榎の木バザー	45,860
						その他	130,590		
				積立金繰入	1,501,115	寄附金収入	1,600,000		
						補助金収入	50,000		
				当期繰越金	243,623	雑収入	28,388		
						積立金戻入	0		
		計	9,612,990	計	4,413,038	計	4,413,038		

かしの木の会 平成15年度 予算書

名称区分		支出の部		収入の部	
名称区分	会計区分	支出	収入	収入	支出
かしの木の会	事業会計	事務費支出	440,000	会費収入	900,000
		一般物品費	50,000	活動会員	480,000
		会議費	70,000	購読会員	420,000
		役員費	150,000	事業収入	2,000,000
		借料損料	70,000	盆踊り	100,000
		雑費(務)	100,000	尾西まつり	170,000
		事業費支出	2,860,000	福祉フェスティバル	30,000
		広報・研修事業費	250,000	松坂屋福祉の店	160,000
		レク事業費	150,000	他施設バザー	30,000
		収益事業費	320,000	他地域バザー	210,000
		ボランティア事業費	30,000	物資販売	850,000
		特別事業費	300,000	尾社協出張販売	40,000
		慶弔費	10,000	榎の木フェスティバル	200,000
		助成金支出	1,790,000	里常設販売	20,000
		雑費(業)	10,000	個別販売	100,000
		榎の木バザー	30,000		
		その他	60,000		
		寄附金収入	1,520,000		
		補助金収入	50,000		
		雑収入	30,000		
		積立金戻入	0		
		前期繰越金取り崩し	0		
		計	4,500,000	計	4,500,000

社会福祉法人 樫の木福祉会 平成14年度 決算報告書

(単位:千円)

決算 の 状況	施設区分	会計区分	貸借対照表				収支計算書			
			借方		貸方		借方		貸方	
の 状況	樫の木 福祉会	本部 会計	流動資産	10,116	流動負債	0	事務費支出	14,845	補助金収入	18,432
					固定負債	128,400	元利償還金	12,299	寄附金収入	5,922
			固定資産	707,510	引当金	0	繰入金支出	0	繰入金収入	6,868
					基金	700,582	雑支出	0	雑収入	159
					積立金	-121,472	固定資産	0	引当金戻入	0
					繰越金	10,116	取得費	0	設備資金	0
							積立金繰入	4,234	借入金収入	0
							当期繰越金	3	積立金戻入	0
			計	717,626	計	717,626	計	31,381	計	31,381
				樫の木 作業所	施設 会計	流動資産	14,703	流動負債	2,380	事務費支出
					引当金	0	事業費支出	8,425	事業費収入	8,036
			固定資産	21,355	運用財産	0	繰入金支出	1,641	補助金収入	10,155
					基金	21,355	引当金繰入	0	利用者	0
					繰越金	12,323	当期繰越金	2,152	負担金収入	207
								寄附金収入	76	
								繰入金収入	0	
								雑収入	1,617	
								引当金戻入	0	
			計	36,058	計	36,058	計	82,979	計	82,979
	樫の木 園	施設 会計	流動資産	8,152	流動負債	1,382	事務費支出	59,816	事務費収入	49,806
					引当金	0	事業費支出	7,137	事業費収入	7,515
			固定資産	15,503	運用財産	0	繰入金支出	586	補助金収入	11,042
					基金	15,503	引当金繰入	0	利用者	0
					繰越金	6,770	当期繰越金	3,077	負担金収入	156
								寄附金収入	113	
								繰入金収入	0	
								雑収入	1,984	
								引当金戻入	0	
			計	23,655	計	23,655	計	70,616	計	70,616
	かしの木 の里	施設 会計	流動資産	21,951	流動負債	7,208	事務費支出	166,363	事務費収入	143,199
					引当金	0	事業費支出	30,198	事業費収入	32,227
			固定資産	29,049	運用財産	0	繰入金支出	3,000	補助金収入	24,424
					基金	29,049	引当金繰入	0	利用者	0
					繰越金	14,743	当期繰越金	6,485	負担金収入	1,568
								寄附金収入	494	
								繰入金収入	0	
								雑収入	4,134	
								引当金戻入	0	
			計	51,000	計	51,000	計	206,046	計	206,046
	かしの木 の里	らちえつと 特別会計	流動資産	599	流動負債	599	事務費支出	8,159	事務費収入	0
					引当金	0	事業費支出	785	事業費収入	0
			固定資産	572	運用財産	0	繰入金支出	0	委託費収入	8,627
					基金	572	引当金繰入	0	利用者	0
					繰越金	0	当期繰越金	0	負担金収入	140
								寄附金収入	0	
								繰入金収入	0	
								雑収入	177	
								引当金戻入	0	
			計	1,171	計	1,171	計	8,944	計	8,944
	樫の木 作業所	授産 会計	流動資産	5,235	流動負債	6	事務費支出	0	作業収入	7,349
					繰越金	5,229	事業費支出	6,408	繰入金収入	0
			固定資産	0		0	当期繰越金	942	雑収入	1
			計	5,235	計	5,235	計	7,350	計	7,350
	樫の木 園	作業指導 会計	流動資産	2,250	流動負債	181	事務費支出	0	作業収入	3,209
					繰越金	2,069	事業費支出	2,339	繰入金収入	0
			固定資産	0		0	繰入金支出	1,641	雑収入	1
			計	2,250	計	2,250	計	3,210	計	3,210
	かしの木 の里	作業指導 会計	流動資産	2,653	流動負債	620	事務費支出	20	作業収入	3,185
					繰越金	2,033	事業費支出	2,789	繰入金収入	0
			固定資産	0		0	当期繰越金	377	雑収入	1
			計	2,653	計	2,653	計	3,186	計	3,186

☆簡単おやつ☆ 食生活改善グループ 野菜ジュースを使った簡単にできるゼリーです

(材料) 材料 (8~10個分)
 野菜フルーツジュース 500cc
 粉寒天 4g
 砂糖 適宜



(作り方)
 ① 鍋にジュース、砂糖 粉寒天を入れ、混ぜながら、沸騰させないよう充分温める。
 ② 粗熱をとったら型に入れて冷やす。
 *オレンジキュラソー(大さじ2)を加えると香りがよい。



こぼればなし

喫茶コーナーのあるケーキ屋さんで
 “おかし” なはなし

注文したケーキセットの量が多くて食べきれなくて、店員さんに持ち帰りたいと申しましたら、なんと「こちらは生物ですのでお持ち帰りはお遠慮下さい」とのこと…ん？ 手作りケーキ屋さんでの出来事でした。みなさん暑い中、食中毒にはくれぐれもご注意を！！

友達から貴女年より若く見えると言われお世辞でもうれしかったよ。ちなみに私は60…ウオオです。皆さんも若さを保って頑張ってください。

お知らせコーナー① 押し花にする花募集中

お庭に咲いている花をほんの少し分けて頂けませんか？
 《押し花にできる花、葉っぱ》
 バーベナ・ミニバラ・あじさい・スイートピー・かすみ草・黄花コスモス・ピオラ・もみじ・人参の花、葉などあまり厚みのない花・葉っぱを募集しています。
 出来ればタッパ等の入れ物の下にきつく絞った雑巾、ティッシュを入れて頂くとしおれません。よろしくお祈りします。
 かしの木の里：きらめき工房

☆ビデオ貸し出します☆

「障害」をもつ人達への理解を深めるために、また様々な障害特性をもった人達への支援技術を高めるためのビデオの貸し出しを行います。希望される方はかしの木の会事務局
 (0586-63-2111) まで!!

- ・ TEACCH プログラム (自閉症の人達への支援プログラムです。)
- ・ 重症心身障害者の介護技術
- ・ 夜明け前の子どもたち
- ・ そっちやないこっちや など

お知らせコーナー②

行事予定 7月

- 6(日) 第21回 福祉七夕笹設置
尾西市ボランティア連絡会にて
- 10(木) 虫送り(伝統行事)
夕方～ 祖父江町島本新田にて
- 7月末 暑中見舞いハガキ作成
尾西市社会福祉協議会にて
- 27(日) どんぐりの会 納涼祭
尾西公園・集いの里 午後4時30～
※参加希望者は祖父江まで(0586-61-6674)

行事予定 8月

- 9(土) 樫の木盆踊り大会
午後6時～ 樫の木作業所にて

行事予定 9月

- 2(火)～7(日) かしの木の里ギャラリー
～ 秋いろ空いろ彩いろ展 ～
一宮本町ギャラリーメンバーにて

平成15年度普通救命講習会

- 第1回 平成15年9月14日(日)
- ・9:00～12:00(3時間)・尾西市消防署研修室
- ・費用 無料 ・参加対象者 尾西市内在住・在勤で中学生以上 申し込みは!
- 尾西市消防署救急係 0586-62-3163 ダイヤルイン

中長期整備事業の有志による自己資金積立状況

(平成15年3月13日現在)

1. 累計積立額 **8,020,670円** (目標額: 3000万円/4年間)
2. 協力者数 **147名** (目標数: 150名以上)
3. 取組み経過月数 **20ヶ月** (平成13年8月開始)

- 協力者数は目標数に後一息です。
- まだ検討中の「あなた」には...早速のご協力をお待ちしています。
- この積立金は、10年後の樫の木作業所の建て替え整備資金として、有志の方により、平成13年8月から取組みを行っているものです。
- ひとり一人のご協力が、この取組みを支えています。
- 引き続き、目標額の達成に向けて、ご協力をおねがいします。



☆ 随時 作業・行事ボランティアさんを募集しております!!

詳しくは、かしの木の里 0586-63-2111 担当 武田まで。

尚、かしの木の会/手芸品 かしの木の里/自主製品を、かしの木の里・施設内にて販売しております。樫の木園にて花苗を販売しています。お立寄りの際はどうぞご覧下さい。

かしの木では、ホームページを開設しております。掲示板「みんなのワ」のコーナーでは、何でも気軽に話ができる場をつくりました。何でも書き込んで下さい! 皆さん一度ホームページも覗いて見て下さいね☆「ワ」を広げませんか?

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県尾西市富田字砂原 2147 番地 Tel 0586-63-2111

かしの木の里内 Fax 0586-61-1200

樫の木福祉会☆樫の木作業所 尾西市富田字漆畑1 6番地 Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514

☆樫の木園 尾西市富田字若宮1 7番地 Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253

☆かしの木の里 尾西市富田字砂原2147番地 Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200